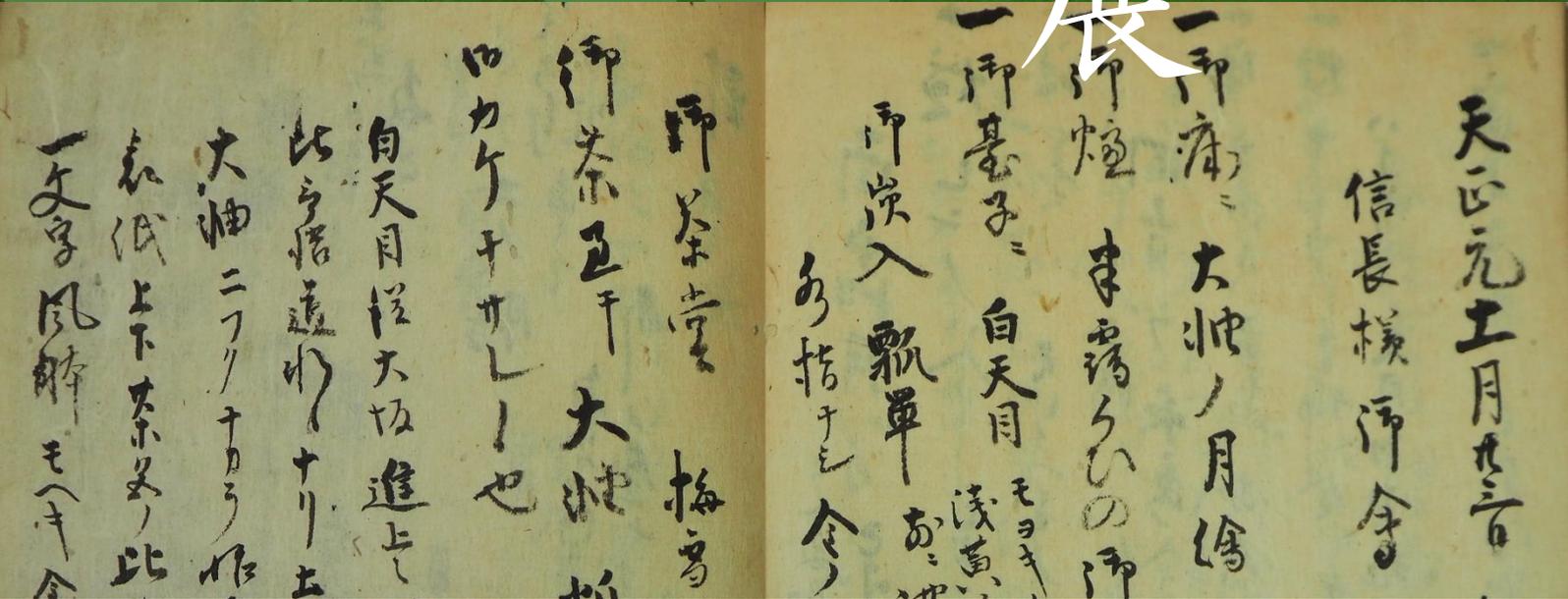


# 武家茶道

## 鎮信流展

「宗及茶湯日記」受贈記念



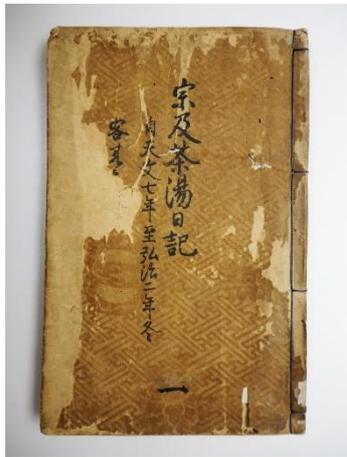
2019

10/5 [土] — 12/8 [日]

松浦史料博物館

会場: 松浦史料博物館(〒859-5152長崎県平戸市鏡川町12番地) / 入場料: 大人600円小中高生350円 / 開館時間: 8:30~17:30  
主催: 公益財団法人 松浦史料博物館 / お問い合わせ: TEL0950-22-2236 [matsuhaku@matsura.or.jp](mailto:matsuhaku@matsura.or.jp) <http://www.matsura.or.jp/>

# 武家茶道鎮信流展 「宗及茶湯日記」 受贈記念



この度松浦史料博物館に於きまして『宗及茶湯日記』(天王寺屋会記)を受贈いたしました。この茶会記は、堺の豪商天王寺屋津田宗達、宗達の嫡子宗及、宗及の子宗凡と江月宗玩の3代にわたる茶会記録です。単なる茶会記録としてばかりでなく、織田信長から豊臣秀吉に至る桃山期の歴史的事実を探るうえでも貴重な資料となっています。そこで『宗及茶湯日記』の収蔵を記念致しまして、企画展「武家茶道鎮信流」展を開催いたします。千利休により大成された侘茶は、天下人から大名、町衆まで広く普及されるなか、平戸松浦家は、石州流を基本に、武家茶道鎮信流を創始しました。本展覧会では、松浦家に伝わる利休以前の“饗応のしつらえ”、松浦家鎮信流の好みの茶道具の品々をご紹介します。

宗及茶湯日記(天王寺屋会記)

津田宗達の自他会記各2巻、宗及の他会記4巻、自会記6巻、道具拝見記1巻、宗凡及び江月宗玩の他会記1巻の、あわせて16巻からなる。(松浦史料博物館では、その内15巻を所蔵している)



松浦家第二十九代 松浦鎮信(一六三二〜一七〇三)  
平戸藩第四代藩主 茶道鎮信流流祖



茶入 銘松浦 江戸時代  
箱の蓋裏に茶道遠州流の祖である小堀遠州の歌が墨書されている。



山吹井戸茶碗 李朝時代  
松浦家伝来の高麗茶碗。高台脇に井戸の特徴である梅華皮がみられる。



一休和尚肖像  
室町時代前期の禅僧、一休宗純(一三九四〜一四八二)の肖像画  
侘び茶の創始者・村田珠光に茶禪一味を説いた。

## 平戸大心茶会

— 宗及茶湯日記受贈記念 —

三大茶会記のひとつ「宗及茶湯日記」は堺の豪商、天王寺屋津田家三代の茶会記です。この度、受贈を記念し、茶会を開催いたします。「宗及茶湯日記」に記された会席の献立を再現し、点心としてお出しします。信長、秀吉、利休の時代の茶に想いを馳せていただけましたら幸いです。



日時 令和元年十一月十日(日) 十時〜  
場所 松浦家・松浦史料博物館  
茶席 五席(一席十名)  
茶券 一枚 一万五千元  
(会席・濃茶・薄茶)

・松浦史料博物館入館券・平戸オランダ商館入館券

申込期限 令和元年十月二十日(日)  
後援 平戸市・平戸観光協会

詳細につきましては、

松浦史料博物館までお問合せください。

【電話番号】〇九五〇・二二二・二二三六

【メールアドレス】matsuhaku@matsura.or.jp

内覧会 10月5日(土) 10:00〜 松浦史料博物館 ※入場無料

企画展名 武家茶道鎮信流展「宗及茶湯日記」受贈記念  
会期 2019年10月5日(土)〜12月8日(日) ※会期中無休  
開館時間 8:30〜17:30  
場所 松浦史料博物館(長崎県平戸市鏡川町12番地)  
入場料 大人600円 小中高生350円  
主催 公益財団法人松浦史料博物館  
お問合せ TEL 0950-22-2236 matsuhaku@matsura.or.jp

